

元気おおとよ新聞

移住者紹介

いわもと

岩本

あきひろ

晃弘さん



今回は、今年4月に大豊町に移住してきた岩本晃弘（いわもとあきひろ）さんです。東京都出身、現在34歳の彼の話聞いてみると、とにかく様々な経験をされている方ということがわかってきました。そんな彼について紹介していきます！！

大豊町へ移住したきっかけは？

大豊町に来るまでは、福井県の地域おこし協力隊で梅林の栽培や地元のイベント運営をおこなっていました。その時に嶺北の知人ができて、協力隊が終わってから、その人繋がり、まず本山町に一年ほど住んでいました。その後、大豊町でベビーリーフの栽培をすることになってこっちへ引っ越してきました。



地域おこし協力隊に入るまでは何をされていたか？

東京で会社員をやったあと、27歳でワーキングホリデーを使ってオーストラリアに2年間行っていました。そこでトマトやズッキーニを栽培するアルバイトをやっていたのですが、一つの畑が何十ヘクタールもあって、一日作業しても一列終わらない規模でびっくりしました。オーストラリアは自然が豊かでとても楽しかったのを覚えています。

これまで農業に多く携わってきたようですが、大豊町ではどんなことをされていますか？

今はベビーリーフの栽培をしていて、末広やさくら市、インターネットなどで販売していますが好評いただいています。他にも町内のトマト農家さんのアルバイトもしています。また、個人でインターネット記事の作成を請け負ったり、れいほくTVという嶺北地域のいろんなものを紹介する動画の配信をYouTubeやフェイスブックなどで行っています。

なかなか色々なことをされていますね。趣味はどんなものがありますか？

旅行が好きです。今は四国八十八か所巡りですね。今のところ10か所まで行きました。（※岩本さんは車で巡っているとのことですよ（笑））

移住してまだ間もないですが、大豊町でこまっていることはありませんか？

地元の決まりごと（ローカルルール）が良くわからないです。戸惑うことが多いので、やさしく教えてほしいです。

今後の展望などあれば教えてください。

今やっているベビーリーフは拡大していきたいですし、トマトも自分で作ってみたいと思っています。なんだかんだ農業が好きなんだと思います。

また、高須にある林ハウスというシェアハウスの管理人にもなっていて、現在は新型コロナの影響で受入れがありませんが、再開したら地域の人たちにお世話になりながら、頑張っってやって行きたいと思っています。

インタビューを始めたときには、どこことなくのんびりした感じの人と思ったのですが、様々な経験をされてきているぶん、その落ち着きに反映されているのだなと、終わってみて感じました。これからも、そんな彼の経験を活かして大豊町で活躍してくれることに期待したいと思います。（猪野大）



元気おおとよの活動紹介

NPO法人元気おおとよの取り組みの一つに、「空き家の荷物片付け及び処分作業のお手伝い」があります。深刻な過疎高齢化により集落維持の危機に陥っているわが町の現状を、少しでも改善しようと空き家の活用の一環で、この取り組みを始めました。空き家を貸さない理由の一つに、「荷物がそのまま残っているから」の声が多く聞かれたからです。

売買または賃貸していただける空き家の家主、購入者または賃借人、元気おおとよのメンバーや地域住民、の3者が協力し、空き家の荷物を片付けます。使えるものはそのまま残し、いらないもの・使えないものは、家庭ごみとして清掃センターに持ち込み、処分してもらいます。（※清掃センターの指示に従い細かく分別し、持ち込み不可のものは、適切に処分します）

3者が協力して汗を流すことで、①（家主は）空き家を活用できる ②（借主は）地元の人と交流できる ③家主と借主の信頼関係を築くことができる ④（地域は）人が増えてにぎやかになる、などのメリットがあります。

これまでに何件もの空き家を再生し、移住者を受け入れてきた実績があります。今後とも取り組んでいきますので、該当するような空き家をお持ちの方は、ぜひご相談ください。（野田）

告知 今年のそば物語予定

8月23日(日)そばまき

11月22日(日)そば刈り

12月6日(日)脱穀

2月7日(日)そば打ち

あくまで予定です！

詳細については後日お知らせします！

ご興味のある方は、

090-6659-9234

中平までご連絡下さい！

今回から2回連続で親子二世代にわたって大豊の地域医療に貢献していただいている秋山歯科診療所の秋山公生先生と大田口医院ならびに高橋医院の高橋雄彦先生取材させていただいた記事の特集です。ご承知のように両医院は親子二世代にわたって大豊の地域医療に携わってこられました。町に開業医のお医者さんと歯医者さんがおいでであるということは、本当に心強く頼もしくありがたいことだと思います。長い開業の中で医院の場所も建物も何回か変わりましたが、医院には先生や看護師さんたちスタッフの皆さんが居てくれました。いったい何人の方が4人の先生に診察や治療をしていただいたことでしょうか。のべ人数はいったい…？ また、双方の触れ合いの中で、地域医療ならではのほほえましく温かいエピソードも生まれたことでしょうか。

さて、今回の記事は両先生からお聞きしたことが中心になりますので、先代の先生やむかしの医院に関する内容が多くなります。また、紹介したい内容は盛り沢山にあるのですが、写真も入れるとなると紙面の都合で残念ながらほんの僅かな記事になってしまいました。ご了承ください。

秋山歯科診療所

秋山信吉（のぶきち）先生・秋山公生（きみお）先生

豊永小運動場から見た秋山歯科医院



五月晴れの5月19日のお昼休みに秋山歯科診療所の待合ロビーで1時間ほどお話をうかがいました。

昭和20年代に東土居に信吉先生が開業。当時27歳で、亡くなられる77歳近くまで当地で歯科医師として励まれたとのこと。私などにとってかすかに記憶に残るのが、鼻の下にちょびっと生やした手入れの行き届いた真っ黒いお髭。黒縁のメガネと重ね合わせて、失礼ながら、歯科医の先生以上のこわ〜いイメージが離れませんでした。

<秋山信吉先生との思い出>

公生先生にお父さんの思い出をたずねたところ真っ先に出てきた言葉が、「選挙が好きな父でしたねえ」でした。後述の保育所の創設などと合せて考えると、奉仕や貢献の精神に富まれた方だと想像できるのですが、自らも第1回の大豊村議会議員に立候補、当選され、後には高知県議会議員選挙にも打って出たとのこと。また、門田盛一郎氏の後援会長を長く勤め、西岡治郎氏との県議会議員の選挙では2票差で敗れ、ずいぶんな悔しがりようであったこと。しかし、世間でよく問題になるような開票の作業などについては一言も疑義を申し出なかったこと。そして、次の選挙では盛一郎氏当選と西岡氏とも握手を交わしたりで大いに喜んだとのことでした。

近所のご婦人の体験談



私が小学生の時、信吉先生にバイナップルの缶詰をいただいたことがあります。治療の痛さを我慢したご褒美だったのかも？ 優しい先生だなあと思いました。

<豊永保育所の創設>

いろんな業績の中で特筆されるのは、豊永保育所の創設ではないでしょうか。私財を投じての設立で、現在保育所の統合を施策にあげている教育委員会の会議資料には、今でも秋山信吉先生の名前が出て来ます。添付の写真（昭和36年度 豊永保育所卒園記念）は、経営責任者の信吉先生（最後列左はし）、園長だったお母さん（最後列右はし）、そして卒園生の公生先生（2列目の右から3人目）揃い踏みの写真です。ちなみにお母さんの進言もあって大豊の保育所園児の歯科検診を最初に行ったのは公生先生（豊永保育所で実施）で、その後各保育所で実施されるようになったとのこと。

公生くんの卒園式



<秋山公生先生>

公生先生は、大学卒業後高知市内で研修を終えた後お父さんの希望もあり後を引き継ぎました。現在は大杉で開業していますが、幼少の頃の豊永保育所や川戸の西豊永小学校での思い出（学校までの坂道や揺れる吊り橋の大変だったこと、夏の保護者の監視のもとでの南小川での水泳、大篠小学校へ転校して学校のプールでまっすぐに泳げなかったこと、松尾神社の坂道に凍りついたコースを作りキンマ（そり）で滑ったこと、あげくにお目玉を食らったこと…）など懐かしそうに話してくださいました。



医院の前で公生くん

秋山家 家族写真



<先生の3人の子供さんたち>

私が豊永小学校へ赴任した時、先生の長女、紗希さんが1年生で在籍していました。笑顔の似合う可愛い女の子でした。今回のお伺いで先生の3人の子供さんたちのことを教えていただきました。紗希さんは35歳、次女の方は33歳、長男さんは30歳になられたそうで、5人のお孫さんの対応が大変だとにこやかに話されました。ちなみに長女の紗希さんは近森病院で言語聴覚士として勤務をされているそうです。

<大豊での歯科医療と後継者>

最後にお聞きしたことは歯科医療のことと秋山歯科の後継者のことでした。歯科医療については、高齢者の多い大豊では、特に誤嚥性肺炎や歯周病に注意が必要で、歯周病対策や口腔ケアを大切にしてほしいとのことでした。後継者については、ご友人の方などに、大豊は住んだり生活するにはいい所だから、歯科医として移住などしてくれる人はいないものか、などと相談をしているそうですが、何より自分自身が元気でいて、できる限り病院を続けたいとの力強い言葉をいただきました。あっという間の1時間、ありがたい気持ちで取材を終え、秋山歯科の存続と先生のご健康を願いながら病院を後にしました。

集合写真にご協力いただいたスタッフの皆さん、ありがとうございました。（鄙）

現在の秋山歯科医院（公生先生とスタッフ）

